

SNOWFLAKE ADVANCED

3 日間のコース

25F13



概要

この 3 日間のコースでは、Snowflake の高度なデータ操作やデータ移動の機能に加え、特殊なテーブルタイプの使い方、高度なクエリ構造、パフォーマンス、そして Snowflake が推奨する運用のベストプラクティスについて学ぶことができます。このコースは、講義、デモ、およびラボで構成されています。

習得できるスキル

- Snowflake の高度なアーキテクチャの概念を評価する。
- 一括ロードおよびロードのトラブルシューティング戦略を設計する。
- 半構造化データと非構造化データの特徴を活用する。
- データ分析に高度なクエリ構造を使用する。
- イベントテーブルを使用して、ロギングおよびトレース情報を収集、分析する。
- Snowflake AI Data Cloud のパフォーマンスをチューニングする手法を開発する。
- Snowflake AI Data Cloud におけるコラボレーションにデータシェアリングを活用する。

対象者

- データアナリスト
- データエンジニア
- データサイエンティスト
- データベース管理者
- データベースアーキテクト

前提条件

- 「Snowflake Multi-Factor Authentication (MFA) Essentials」無料オンデマンドコースの受講を推奨。
- 「Snowflake Fundamentals」を完了しているか、同等の Snowflake の知識があること。

提供形式

インストラクター主導による公開またはプライベートのクラスが利用可能です。

取り上げるトピック

日付、時刻、時系列データ

- 日付、時刻、タイムスタンプ
- 日付と時刻の操作
- 時系列データと ASOF JOIN

地理空間の操作

- 地理空間の概要
- Geography データ
- Geometry データ
- 地理空間関数の概要

非構造化データの操作

- 非構造化データの概要
- コンセプト
- ワークフロー

ダイナミックテーブル

ハイブリッドテーブル

外部テーブル

- 外部データレイクのクエリ
- 外部テーブルの作成とクエリ
- 仮想列とパーティションの作成

Apache Iceberg™ テーブル

- データレイクと Apache Iceberg™ テーブル
- Snowflake の Apache Iceberg™ テーブル
- Apache Polaris™ と Snowflake Open Catalog

ストリーム

- ストリームの概要
- ストリームを使用した CDC と SCD

半構造化データのロードと変換

スキーマの推論と進化

- スキーマ推論
- スキーマ進化

GROUP BY と GROUPING SETS

サブクエリと共通テーブル式 (CTE)

ウィンドウ関数

- ウィンドウ関数の概要
- 累積ウィンドウ関数
- スライディングウィンドウ関数

階層型データのクエリ

Snowflake Notebook

通知とアラート

- Snowflake アラートの設定と管理
- Snowflake 通知の設定と管理

検索最適化

クエリアクセラレーション

データコラボレーション

- プライベートリスティング
- インターナルマーケットプレイス

データメトリクス関数

- データメトリクス関数の概要
- DMF のワークフロー
- DMF のモニタリング